

北大史学会例会:シンポジウム

中近世移行期日本の貨幣・信用・流通

——研究の現状と課題——



■ 2020年3月13日(金)

14:30~18:30 (終了予定)

■ 北海道大学スラブ・ユーラシア
研究センター 4階大会議室

- 趣旨説明・問題提起 「近年の割符・為替研究に寄せて」
(橋本 雄/北海道大学) 14:30~14:40
- 報告① 「中近世移行期日本における貨幣流通の実態をめぐって:北海道からの視点を含む」(高木久史/安田女子大学) 14:40~15:20
- 報告② 「織田信長の撰銭令をめぐって」(平井上総/藤女子大学) 15:20~16:00
——休憩:10分——
- 報告③ 「冊子史料からみた16-17世紀における伊勢神宮地域の貨幣・信用・金融:『外宮子良館日記』の分析を中心に」(千枝大志/同朋大学仏教文化研究所) 16:10~16:50
- 報告④ 「貨幣考古学から見た中近世移行期の課題と展望」
(櫻木晋一/朝日大学) 16:50~17:30
——休憩:15分——
- 討論(司会:橋本) 17:45~18:30(予定)



- ◆ 参加費無料。終了後、懇親会(有料)を予定。
- ◆ 主催:北大史学会、北大中世史研究会、北海道大学日本史学研究室、科学研究費補助金(17K03118, 16H03650, 17H02389, 18H00880, 19H00546)



画像提供 岩国市教育委員会



◆ 掲載図版(左上:「肥えた借上の女」(病草紙)福岡市美術館蔵、右上:「借上の使者から緡銭を借りる女房」(山王霊験繪巻(下巻))、和泉市・久保惣記念美術館蔵、左下:中津井居館跡出土一拵銭(岩国市教育委員会蔵)。

◆ 本件担当者:橋本 雄(HASHIMOTO, Yu)/Email: hashi-jh@let.hokudai.ac.jp/〒060-0810 北海道大学文学研究院日本史学研究室気付